



# れんごう栃木

発行人 吉成 剛  
編集人 川中子 伸之  
〒320-0052 宇都宮市中戸祭町 821  
栃木県労働者福祉センター内 3F  
TEL 028 (650) 5555  
FAX 028 (650) 5566  
メール: info@tochigi.jtuc-rengo.jp  
URL: https://rengo-tochigi.or.jp/

●台風19号災害ボランティア●連合愛のカンパ地域助成●AA支援米稲刈り●ディーセント・ワーク●寄稿「男性の意識改革と労働組合の進化」

## 災害ボランティア活動始まる

### 台風19号県内被災地



### 被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

10月12日、関東地方を直撃した台風19号は、県内各地で河川氾濫や床上床下浸水など大規模な災害をもたらした。被災された方には心よりお見舞いを申し上げます。

連合栃木は15日、災害対策本部を設置し、加盟組合や組合員の被災状況集約を始めた。同時に、連合栃木災害ボランティアチームの派遣を検討。県内も被災地が広範囲に及ぶことから、当面は宇都宮市内で活動することとし、10月20日、26日、27日、11月2日、3日、4日の6日間でのべ〇人が活動した。27日には連合本部の相原康伸事務局長が激励のため来県。「皆さんの活動に敬意を表したい。連合本部も救援カンパなど最大限の支援を行う」との言葉があった。

秋山川の堤防が決壊し、約1500棟が床上浸水した佐野市をはじめ、栃木市や足利市などでも各構成

組織や地域協議会が独自にボランティアを集め、被災された民家などへの支援を始めている。連合栃木災害ボランティアチームは、当面、宇都宮市内での活動を中心に行うが、状況に応じて宇都宮以外での活動も検討している。ボランティア募集や活動内容については、連合栃木ホームページで情報発信していく。

県社会福祉協議会担当者によると、ボランティアの需要は11月に入っても依然として高いが、参加者は日ごとに減ってきているようだ。連合栃木に集う多くの仲間の力をお借りしたい。

なお、ボランティア活動は原則として各市町社会福祉協議会などが設置しているボランティアセンターを通じて行っている。また、ボランティア活動保険への加入が必須だ。詳しくは各市町社協のウェブサイトなどで事前に確認してほしい。



# 「地域社会福祉活動を、身近なものに」 tub jogay 井上代表

— 2019年度「連合・愛のキャンパ」県内2団体に助成金交付 —

10月21日、2019年度の「連合・愛のキャンパ」で地域助成が決定した2団体に助成金を寄贈した。

寄贈したのは、「NPO法人栃木かぬま教育支援ネットワーク薬（ひこばえ）」（渡邊真知子理事長）とボランティア団体「tub jogay」（井上由加利代表）。

栃木かぬま教育支援ネットワーク薬は、子どもたちに豊かな体験活動の提供や課題解決、居場所づくりなどに取り組んでおり、助成は昨年に引き続き2回目。tub jogayは、障がい児とその家族を中心に多くの方が音楽やスポーツ通じてコミュニケーションをはかり、笑顔で心豊かになるような活動に取り組んでいる。

今回が初助成となったtub jogayの井上代表は「私達は様々な経験と技術を持つボランティアを中心に活動しています。多くの方に地域社会福祉活動を身



【写真】tub jogayの井上代表(左2人目)と薬の渡邊代表(同3人目)ら

近なものに感じ、関心を持ってもらいたい。連合栃木の皆様に感謝申し上げ、さらなる活動の広がりを目指したい」と感謝の言葉があった。

連合栃木では、愛のキャンパを通じて地域で活動するNPOなど団体の活性化や連携に取り組んでいく。

## 2020年度「連合愛のキャンパ・地域助成」

申込期間：2020年1月1日～3月31日／詳細は連合栃木組織局（担当：沼子）TEL 028-650-5555

## 親子連れで稲刈り体験

— アジア・アフリカ支援米を収穫 —



【写真】親子連れで稲刈りを楽しむ

アジア・アフリカ支援米を栽培している鹿沼市下沢で10月6日、組合員や子どもたちの参加により収穫の稲刈りが行われた。支援米の栽培は農家から田んぼを借りて、5月の田植えと10月の稲刈りを組合員の手によって行っている。参加者は、布の手袋や長靴を身につけ、昔ながらの鎌による手作業でぎくぎくと小気味よい音を立てながら黄金色に実った稲を刈り取り、束にしていった。参加者は「子どもに稲刈りを体験させることができてよかった」と話していた。この日収穫したお米（品種は大嘗祭でも使われた「とちぎの星」）は、食とみどり水を守る運動推進委員会（齋藤幸博委員長）が、後日アフリカのマリ共和国に発送する。

## 「働きがいのある仕事を」街頭で呼びかけ

— ディーセント・ワーク世界行動デー —



【写真】街頭活動を行った皆さん

国際労働機関（ILO）が提唱するディーセント・ワーク世界行動デーの10月7日に合わせて連合栃木は、多くの人が行き交うJR宇都宮駅前で「すべての人に、働きがいのある人間らしい仕事を実現しよう」と呼びかけた。

ディーセント・ワークは、“働きがいのある人間らしい仕事”と訳され、「権利が保障され、十分な収入を生み出し、適切な社会的保護が与えられる生産的な仕事」を意味している。連合栃木もディーセント・ワークの実現を運動方針に掲げて、これまでも長時間労働の是正やパート・有期契約労働者や派遣労働者と正規雇用労働者との間に不合理な待遇の是正を訴えてきた。この日は、宇河地域協議会、労金、こくみん共済coopの皆さんも参加。チラシ配布にご協力をいただいた。



## 寄稿 「男性の意識改革と労働組合の進化」

— 副事務局長 桂 恵子 —

連合栃木初の女性専従役員となった桂恵子副事務局長が、11月8日の第16回定期大会で退任される。この間、連合栃木政策づくり、最低賃金審議会労働者側の柱となって活躍されたが、退任を前に女性役員として労働組合に対する率直な想いを寄稿してもらった。

「女性と労働組合」をテーマに機関紙への執筆依頼を受け、壮大なテーマに1600の文字数と2週間の期限付きには頭を抱えた。締切り2日前、事務局に、テーマは幅を持たせてよいか、文字数は半分にしてほしいと嘆願した。寄稿文は、連合栃木にきて感じたこと、女性役員の立場・視点から綴ってほしいとのことだった。

4年前、連合栃木の副事務局長に就任した。「組合活動に、もっと女性の力を！」と女性参画促進と女性組合役員比率向上の施策の一環だった。自分が学んできたことを活かすことができ、さらにスキルアップしながら会社や社会に貢献できればと外部派遣を快諾した。

労働組合はオトコ社会である。多くの労働組合は男性正社員中心の運営になっている。男性が築き上げたこの社会に入るとき、覚悟より気概を持つことが必要だ。新しい変化や新たな取り組みは難航した。柔軟な発想と緻密な計画、柳のようなしなやかな強さが不可欠だった。組合役員の一員として、オトコ社会の代表者としての服装や振る舞いは必要なかったが、自ら進んで運動しなければならないプレッシャーはあった。

連合栃木は、2020年までに指導的地位を占める女性の役割（女性組合役員）を20%以上にするという目標を掲げている。女性の雇用率は高まっているが、組合役員になってくれる人がいないと言う。女性が組合活動をしようと思っても、時間帯の都合上、活動が難しいという現状がある。性別役割分担の意識は徐々に変わってきているとはいえ、家事や育児が女性の仕事であるという意識が残る日本の社会では、勤務後、組合活動に参加するのは難しい。家事の労働時間を含めると男性より女性の方が長時間働いているかもしれない。

ある構成組織の労働組合では、女性が労働組合に参加しやすい環境づくり（会議時間設定のあり方・見直しなど）に取り組んでいこうとしている。女性社員が少ない組合において、執行委員の選考にあたり、候補となる組合員が育児短時間勤務を選択していても、執行委員会での協議時間を短縮し、帰宅時間までに協議を終えることを検討しているそうだ。現在、パートタイマーをはじめとする短時間労働と



集会等での司会も堂々とこなした桂副事務局長。分かりやすい話し方に定評がある。(写真:ある日の集会で)

いう雇用形態をとる女性が増えており、多様な働き方やニーズに労働組合も応えるべき時がきていると思う。

仕事と生活を両立できる環境を整えて、生き活きと働くことを支援することは、労働組合の大きな役割の一つである。多様性の時代だからこそ、労働者の代表となるポジションに、女性の姿がもっと増えてほしい。女性組合員が抱えている諸課題の早期解決には、積極的に機関運営に携わり、多くの生の声を届けることや、方針決定に女性の声をきちんと反映させることだ。

連合栃木は、まもなく設立30年を迎える。意思決定機関会議への女性参画拡充には、まだまだ地道な努力が必要である。今後さらなる発展を遂げられることを期待し、構成組織の皆様には引き続き、温かいご支援、ご協力をお願いしたい。

最後に、連合栃木での4年間、加盟各産別をはじめとする労働組合の方々、議員懇談会議員の方々、関係各方面の多くの方々から多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。この間、「政策・制度要求づくり」や「エコ・プロジェクト」に携わり、経験の広がりや新たな分野を開拓できたことは、感慨深い。ありがとうございます。

(右写真)事務局親睦会での一幕。桂さん、次は何を釣り上げるの？



連合栃木各地域協議会 2020 年度総会一覧	
宇河地域協議会	11月30日(土) 16時開会 会場：ホテルニューイタヤ
那須地域協議会	11月15日(金) 18時30分開会 会場：TOKO TOKO おおたわら
なんたい地域協議会	11月30日(土) 16時開会 会場：福田屋百貨店鹿沼コンベンションホール
わたらせ地域協議会	11月30日(土) 9時30分開会 会場：足利市民プラザ301
下都賀地域協議会	11月27日(水) 18時30分開会 会場：小山グランドホテル
芳賀地域協議会	11月20日(水) 18時30分開会 会場：真岡チャットパレス

素敵な出会いを見つけませんか。  
**恋コン** 参加者募集

**日時** 12月14日(土)  
11:00~14:00(受付開始10:30)

〈会場〉INDIGO85 インディゴヴァンガレン  
宇都宮市江野町1-15

〈対象〉30~40歳代の独身男女 計16名  
(男性8名/女性8名)

〈参加費〉男性4,000円/女性3,000円

〈申込方法〉  
申込チラシまたは連合栃木WEBサイトより申込んで下さい。

〈URL〉<https://rengo-tochigi.or.jp/>

〈募集期間〉10月18日~12月2日  
※参加者多数の場合は抽選となります

**参加者募集**

**2019 連合栃木女性集会**

日時：12月7日(土) 13:30~15:30  
場所：ベルヴィ宇都宮  
講師：林家まる子さん(タレント)  
講演：「夢をかなえるために  
~するとさせられるの違い~」

**参加者募集**

**働きやすい職場づくりセミナー〈県央会場〉**

日時：12月18日(水) 13:30~16:00  
会場：宇都宮市文化会館・大ホール  
基調講演：「ワーク・ライフ・バランスのその先に  
~女性活躍推進の新常識~」  
講師：治部れんげ氏(ジャーナリスト)  
説明：「ハラスメント対策の強化について」ほか

こくみん共済 NEWS  
あらゆる暮らしの  
シーンをしっかりガード。



宇都宮東支所 Tel 028 - 634 - 1790  
宇都宮西支所 Tel 028 - 634 - 1790  
足利支所 Tel 0284 - 42 - 9505  
小山支所 Tel 0285 - 22 - 6041  
那須塩原支所 Tel 0287 - 48 - 6032

**こくみん共済** 全国労働者共済生活協同組合連合会  
こくみん共済 coop 栃木推進本部 (栃木県労働者共済生活共同組合)  
0919Z044

**ろうきんアプリ**

いつでも・どこでも・つながり・つながる

2019年10月22日(火)スタート!

ろうきん普通預金口座の  
キャッシュカードをお持ちの方であれば、  
すぐにご利用いただけます

利用手数料 無料!

**ろうきんアプリインストールキャンペーン**

デジタル版QUOカード  
QUOカードPay 100円分プレゼント!

期間 2019年10月22日(金)~2020年2月29日(土)

キャンペーン対象条件 ろうきんアプリをインストールして「口座登録」かつ「プッシュ通知をオン」にしていた方、全員にプレゼント!

※上記特典の量は、お一人様につき1回限りです(複数のスマートフォン端末にインストールいただいた場合も100円分となります)。※アカウントに運用継続に利用する金額を「中央労働金庫」と選択いただいた方のみ対象となります。※特典は、ろうきんアプリの口座登録時に入力いただいたメールアドレス宛に翌月20日にお送りいたします。※メールが未着となった場合、特典の再交付はされませんのでご了承ください。※ドメイン指定受信をされている場合は「@chuo-rokin.or.jp」からのメールを受信できるよう設定してください。詳しくは中央ろうきん各営業店までお問い合わせください。

■お問い合わせ・ご相談は  
〈中央ろうきん〉 栃木県本部へ TEL.028-622-4296  
2019年10月20日現在